

二宮・飯山満地区の防災カルテ(災害ハザードマップと避難施設)について

※:船橋市地区別防災カルテ(平成 29・30 年度作成 / 令和 6 年 11 月修正)より。

二宮・飯山満地区社会福祉協議会

Co-SLEE(生活支援コーディネータ) 塚本

1. 二宮・飯山満地区の概要

- (1) 位置 : 二宮・飯山満地区は、市の中央部に位置する。
- (2) 地形 : 中央部に帯状の下総台地が分布し、北部の飯山満川、南部の前原川沿い及びそれらの支谷による谷底低地・盛土地が中央部の台地に入り組んでいる。台地と谷底低地の境界には、浸食崖による急傾斜地が存在する。
- (3) 土地利用: 古くからの農村集落と国道 296 号沿いの集落、および前原団地・芝山団地・習志野台団地等の住宅地が、台地や谷底低地などに広く分布している。住宅地以外の台地では畑、低地では水田として利用されている。
- (4) 交通 : 鉄道は、東葉高速線飯山満駅がある。幹線道路は、南東部を国道 296 号、西部を主要地方道船橋我孫子線、中央部を七林・飯山満線が横切る。

2. 二宮・飯山満地区の災害ハザードマップと事前対策などについて

2.1. 地震災害と地震による液状化災害

- (1) 地震・液状化ハザードマップ(千葉県北西部を震源とする M7.3 の直下型地震を想定)
 - a) 千葉県北西部直下型地震(M7.3)の際には、河川沿いを中心に震度 6 強の強い揺れが予測される(図.1 地震危険性分布(想定震度) 参照)。
 - b) 建物被害は住宅密集地を中心に広く分布するが、震度 6 強となる前原川流域で建物被害が多くなると想定される(図.2 地震危険性分布(建物被害) 参照)。
 - c) 液状化は河川沿いの谷底低地など限定的である(図.3 地震危険性分布(液状化) 参照)。
- (2) 地震に対する対策について
 - a) 「地震の強さ」そのものを弱めることはできないが、強い家へ建て替えたり・耐震化対策を実施したり、室内における家具の固定などの転倒防止策を実施することで被害量を減らすことが出来る。
 - b) 昭和 56 年 6 月以前に家を建てられた方は「家の耐震診断」を推奨する(住宅の耐震性)。
 - c) 室内に置いては、「家具の固定と固定具・粘着マットの点検」や「家具が倒れても部屋の出口を確保できる配置」を行い、「家具の上には危険物を置かない、寝所近辺に倒れそうな家具を設置しない」などを心がける。また、感震ブレーカーの設置も有効です。

2.2. 洪水・内水・土砂災害

- (1) 洪水・内水・土砂災害ハザードマップ(河川と内水を併せた最大浸水深(想定最大規模))
 - a) 過去に、河川沿いや台地上の凹地などで浸水事例が見られる。また、台地と谷底低地の境界に急傾斜地も多く、潜在的な土砂災害の危険性が比較的高いと考えらる。
 - b) 河川沿いの谷底低地に浸水の可能性がある(図.4 洪水・内水・土砂災害危険性分布 参照)。
- (2) 洪水・内水・土砂災害に対する事前の心構えと避難について
 - a) 家の周りの点検・整備や避難所への安全な避難経路を確認しておきましょう。
 - b) 浸水深が浅い場合には自宅や近くの堅牢な建物の 2 階以上への避難も有効です。また、既に浸水が生じており、避難所への移動が困難な場合には、近くの頑丈な建物の 2 階以上に避難するか、家の中でより安全な場所(崖から離れた部屋や 2 階以上)に避難しましょう。

2.3. 津波・高潮災害

- (1) 二宮・飯山満地区は、船橋市の中央部に位置し、「津波災害」や「高潮災害」の可能性は低いと考えられる。

図.1 地震危険性分布(想定震度)
(千葉県北西部直下型地震(M7.3))

凡例

想定される地震動の強さ
-千葉県北西部直下地震のケース-

- | | | | |
|---|-----|---|--------------|
|  | 6強 |  | 緊急輸送道路 (県指定) |
|  | 6弱 |  | 緊急輸送道路 (市指定) |
|  | 5強 | | |
|  | 市域外 | | |

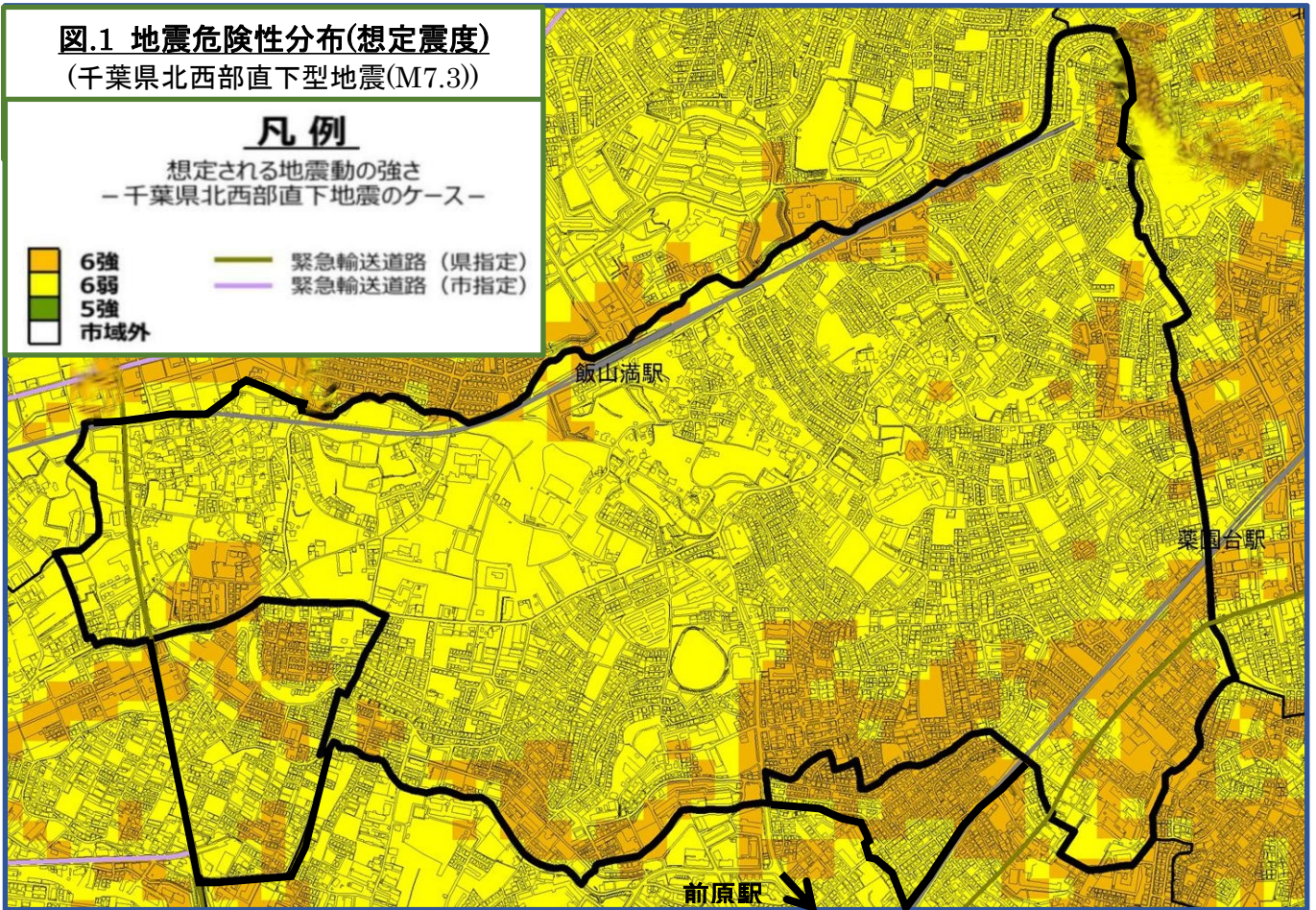


図.2 地震危険性分布(建物被害)
(千葉県北西部直下型地震(M7.3))

凡例

想定される建物被害 (半壊以上)
-千葉県北西部直下地震のケース-

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|--------------|
|  | 5 | - | 10 |  | 緊急輸送道路 (県指定) |
|  | 1 | - | 5 |  | 緊急輸送道路 (市指定) |
|  | 0.5 | - | 1 | | |
|  | 0.25 | - | 0.5 | | |
|  | 0.1 | - | 0.25 | | |
|  | 0 | - | 0.1 | | |
|  | なし | - | 市域外 | | |

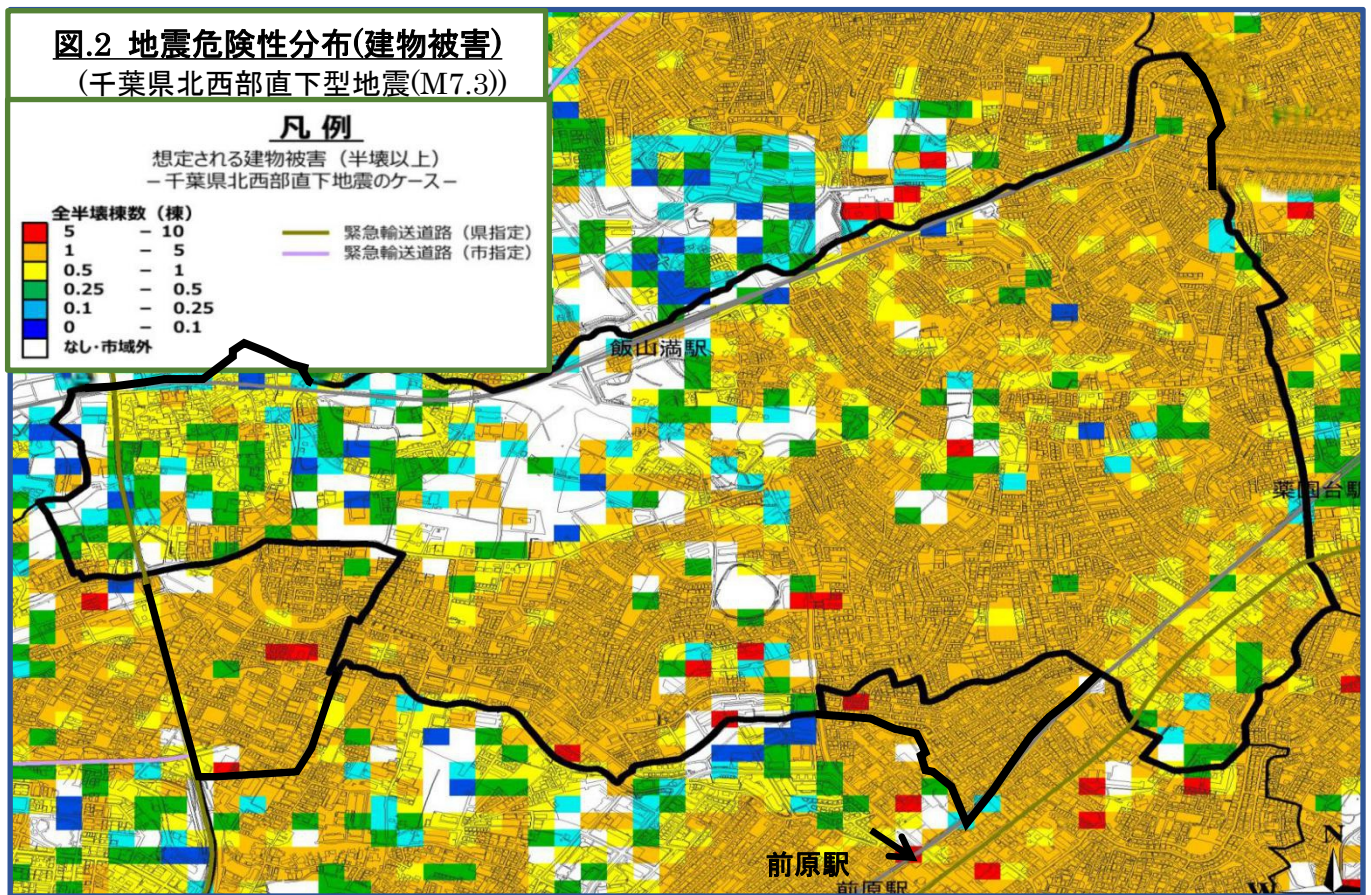


図.3 地震危険性分布(液状化)
(千葉県北西部直下型地震(M7.3))

凡例

想定される液状化の危険性
-千葉県北西部直下地震のケース-

- | | |
|--|---|
| <p>極めて高い</p> <p>高い</p> <p>やや高い</p> <p>低い</p> <p>なし・市域外</p> | <p>緊急輸送道路 (県指定)</p> <p>緊急輸送道路 (市指定)</p> |
|--|---|

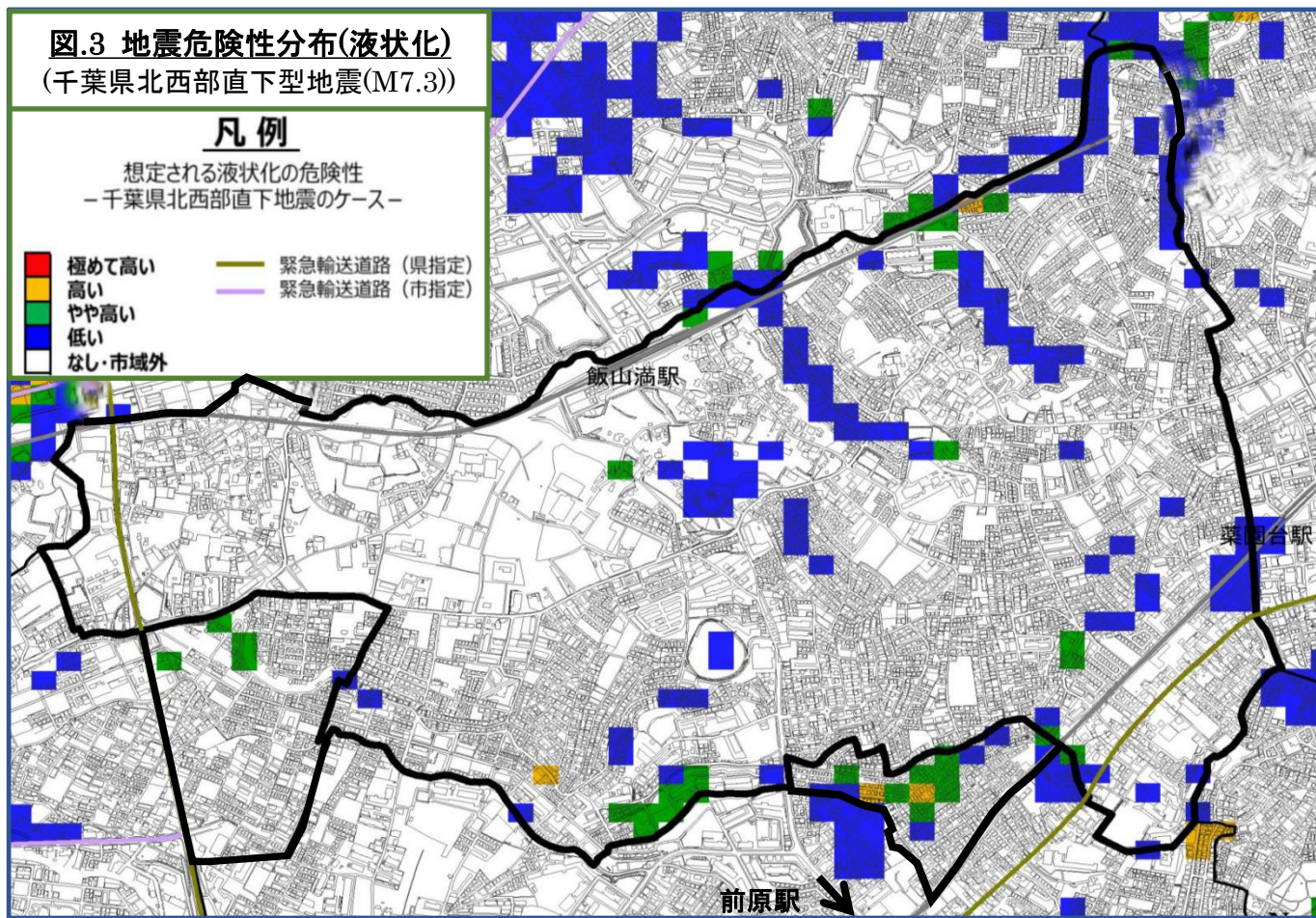
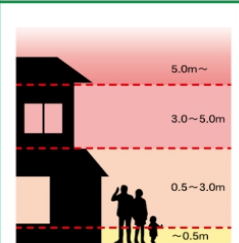
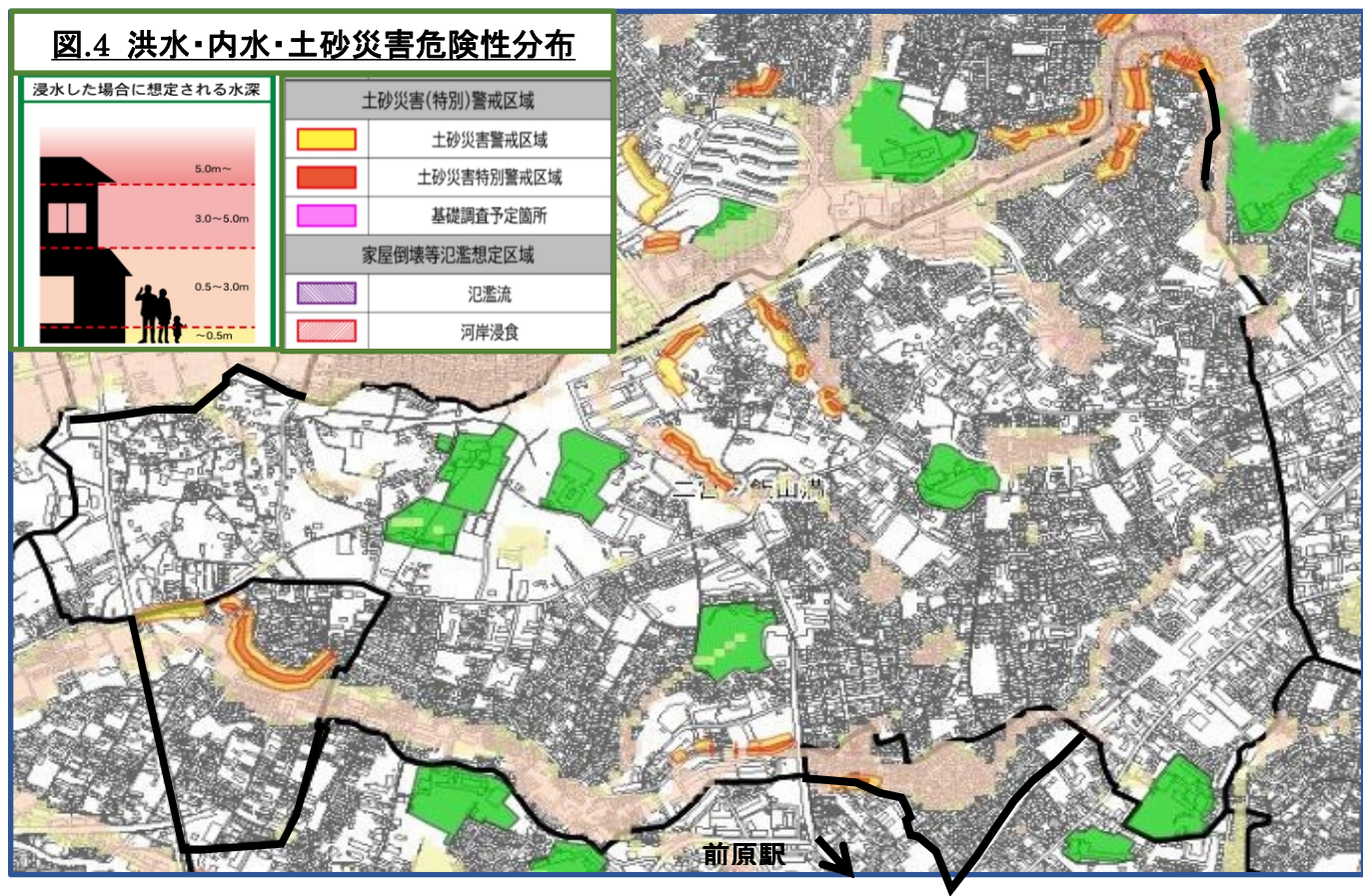


図.4 洪水・内水・土砂災害危険性分布

浸水した場合に想定される水深

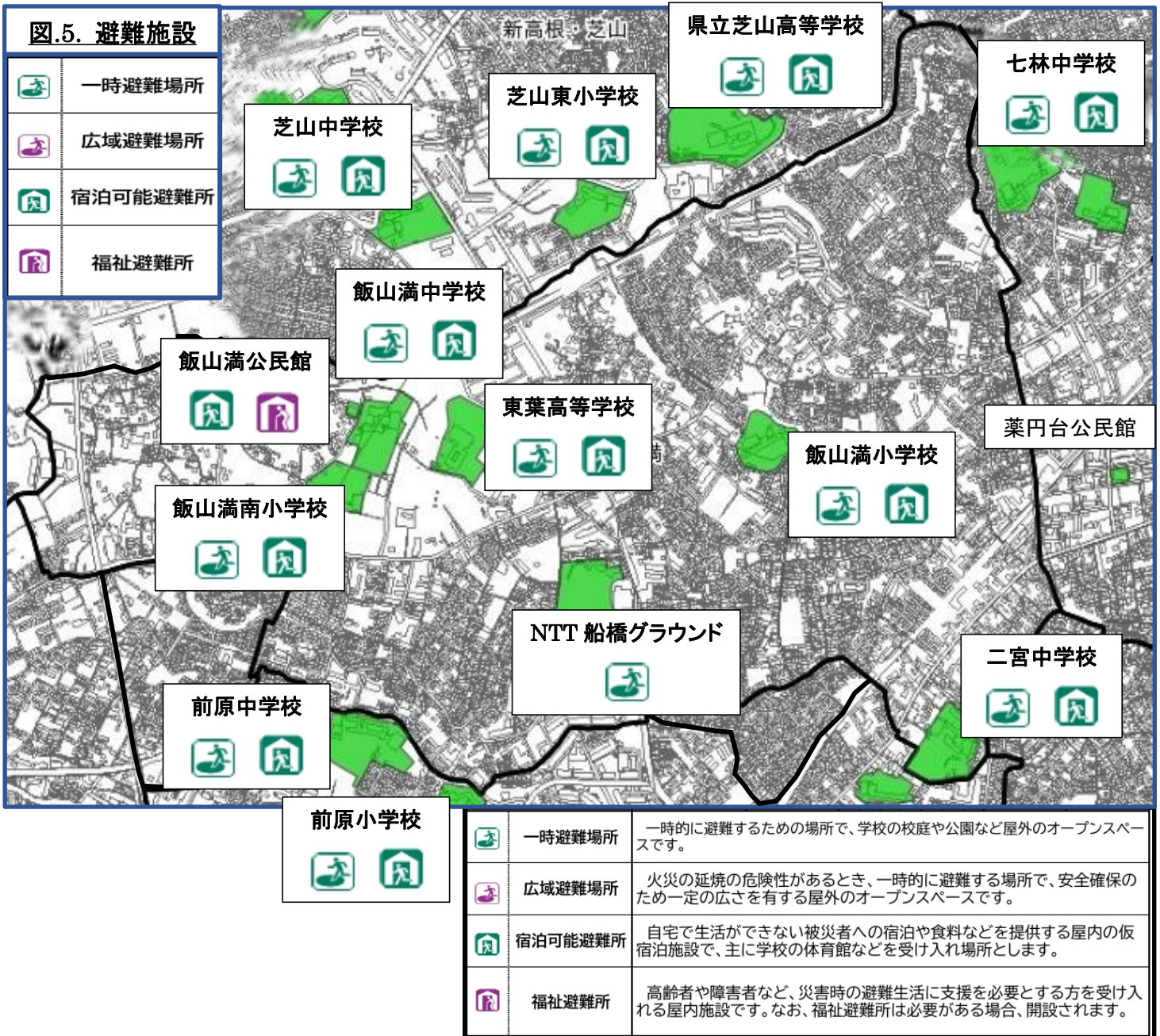


- | 土砂災害(特別)警戒区域 | |
|--------------|------------|
| | 土砂災害警戒区域 |
| | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 基礎調査予定箇所 |
| 家屋倒壊等氾濫想定区域 | |
| | 氾濫流 |
| | 河岸浸食 |



3. 避難場所等について

二宮・飯山満地区の避難場所を図5.に示します(図5. 避難施設 参照)。
 家族等で相談し、避難場所を決めると共に、安全な避難経路を確認しておきましょう。



4. 最後に

災害はいつ起こるか分かりません。普段から事前の準備や心構えを皆さん一人ひとりが意識して、災害時に適切な対応がとれるよう備えて頂ければ幸いです。

以上